

1 県の取組み状況(令和6年度)について

(2) 世界に開かれた活力あふれる熊本

<(施策3)「食のみやこ熊本県」の創造>



農林畜水産業の担い手確保・育成

【目的】 就農希望者への支援体制の充実、安心して就農・経営発展できる支援体系の構築

【概要】

- ◆各広域本部・地域振興局のジョブカフェ・ランチで、農林畜水産業への就業希望者を含む就職希望者からの相談に対応。(4,078件の相談、667人が就職)。
- ◆親元就農者支援として、「おせっかい先輩農家」設置、学びの場の提供、親子間継承の支援強化。
- ◆機械・施設等の修繕、移設、撤去、導入について、国の経済対策に県が上乘せ補助。



▲施設(農業用ハウス)の導入



▲先輩農家によるサポート

「食の高付加価値化」の取組み

【目的】 稼げる農林畜水産業の実践

【概要】

- ◆「食のみやこ熊本県」創造推進ビジョン策定に向け、有識者会議を実施(R7.7に策定)。
- ◆地域資源を生かした新商品開発や機械・施設の整備等を支援。
- ◆民間企業と連携した選ばれる商品開発(「くまもと県南フードグランプリ」開催)、空港でのテスト販売等を実施。
- ◆東海大学とのフード・アグリテック連携プロジェクトの取組みとして、東海大学が熊本キャンパスに産学連携センターを設置。
- ◆海外現地でのトップセールスや輸出に取組む県内事業者の輸出ステージに応じた支援及び台湾への輸出に取組む事業者を支援。
- ◆大都市圏での県産品の認知度向上、販路拡大に取り組む事業者に対し、見本市、商談会等出展経費を補助(百貨店と連携した東京、大阪、福岡での大規模熊本フェア「くまもとモンジャック」等)。



▲くまもと県南フードグランプリ受賞商品



▲東京での県産農産物のPR

1 県の取組み状況(令和6年度)について

(2) 世界に開かれた活力あふれる熊本

<(施策4)スポーツ、観光、文化芸術の振興>



スポーツ政策の推進

【目的】

スポーツを通じた交流人口の拡大や地域の活性化

【概要】

- ◆ 2つの国際大会の開催
 - ・10月のツール・ド・九州(サイクルロードレース)
 - ・11月の熊本マスタースジャパン(バドミントン)
- ◆ 「公民連携によるスポーツ施設整備に関する検討会議」の設置、自治体やスポーツ関係者へのヒアリング等を通じた県有スポーツ施設のあり方検討(検討会議:8月、11月、3月)。

文化芸術の振興 (若手芸術家の海外チャレンジ支援)

【目的】

若者の海外チャレンジ意欲の向上、将来を担う若手芸術家の育成

【概要】

- ◆ 7名の海外研修等参加支援
〔渡航先〕アメリカ合衆国、中国
フランス、ポルトガル
オーストリア
〔研修分野〕音楽(箏、ヴァイオリン
声楽、ピアノ)、
舞踊(バレエ)、美術



▲海外研修(音楽)

観光振興

【目的】

国内外の観光需要を捉えた戦略的な誘客施策の実施、多様なニーズに対応した受入環境の整備

【概要】

- ◆ ようこそくまもと観光立県推進計画を策定(R7.1)。
- ◆ アニメのモデル地を巡るAR機能付きデジタルスタンプラリーの実施やイベント開催。
- ◆ アジアからの誘客に向けた旅行博・商談会・ファミツアー等の実施や欧米豪からの誘客に向けた広域プロモーションの展開。
- ◆ 「くまモンポート八代」をはじめ、県内港を魅力ある地域資源とセットで売り込み、富裕層をターゲットとしたクルーズ船の寄港を促進。
- ◆ 観光事業者の経営力強化に向けた支援や、二次交通の課題克服・周遊促進に向けた観光MaaSの推進。



▲富裕層向けクルーズ船寄港・崎津を散策する欧米豪観光客



▲熊本観光MaaS
(阿蘇ぐるっと周遊バス)

1 県の取組み状況(令和6年度)について

(2) 世界に開かれた活力あふれる熊本

<(施策5)交通の利便性向上>

熊本都市圏交通渋滞解消に向けた ハード・ソフト対策の推進

【目的】 熊本都市圏の交通渋滞解消

【概要】

- ◆「熊本県渋滞解消推進本部」を設置(令和6年6月)し、県と熊本都市圏各市町と、個別にトップ会談を実施。
- ◆都市圏周辺市町も含めた都市圏全体で今後取り組んでいく渋滞対策の方向性や目標・具体的対策を提示。
- ◆大津植木線の多車線化や合志インターチェンジアクセス道路の整備の測量設計や用地買収に着手。
- ◆県が担う19箇所の交差点改良の測量設計に一部着手。
- ◆県・熊本市合同で4,000人規模での時差出勤等の取組み(朝ピーク時間帯(7時半~8時半)の県庁付近の交差点における交通量が約10%減少したことを確認)。
- ◆公共交通の利用促進に向けた、県民機運の醸成を目的に、「くまもと公共交通新時代シンポジウム」を開催。



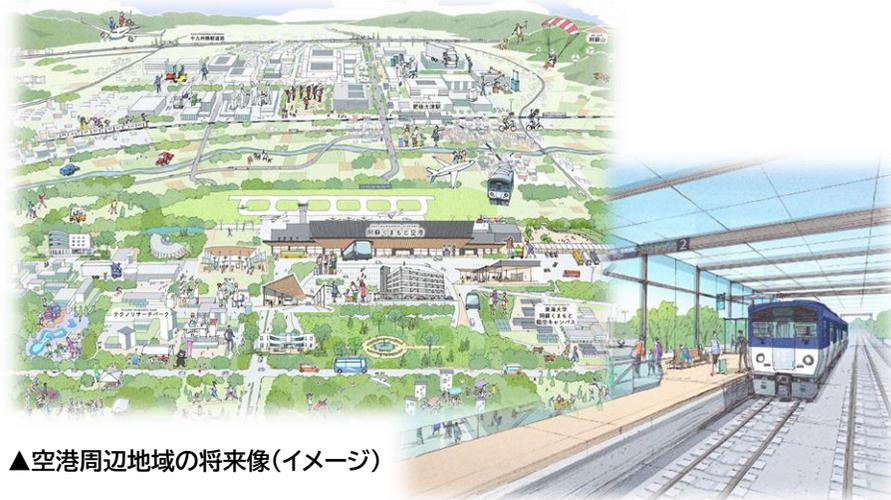
▲県道大津植木線多車線化イメージ

熊本空港の活性化

【目的】 新大空港構想に基づいた、阿蘇くまもと空港の更なる機能強化

【概要】

- ◆熊本国際空港(株)と連携して既存路線の復便及び新規路線誘致を積極展開し、国際線ネットワークが大幅に拡大。令和7年3月末時点で台湾、韓国、香港合わせて5路線・週39便が就航(上海便はR7.7に就航)。
- ◆国際貨物輸送の拡大に向けた、国際航空貨物上屋(保税蔵置所)着工。
- ◆空港アクセス鉄道の事業化に向けた具体的な設計検討等を実施(鉄道絞り込みルートをR7.6に公表)。また、環境アセスメントに関する環境影響評価方法書手続きを完了。



▲空港周辺地域の将来像(イメージ)